

第5回 山ノ内町議会報告会実施結果報告書（東部㊤地区）

日 時	平成24年1月26日（木） 午後7時00分から午後9時00分まで
場 所	沓野区 和合会館 (住民参加者数：39人)
地元協力団体	沓野区・沓野組・渋湯組・横湯組
議員役割分担表	<p>総括責任者：山本一二三          司会進行：高山 祐一          常任委員会報告者</p> <p>総務常任委員会：田中 篤          社会文教常任委員会：山本 良一          観光経済常任委員会：黒岩 浩一          広報常任委員会：渡辺 正男</p> <p>山ノ内町議会          活性化研究会：児玉 信治</p> <p>記録者 小根澤 弘</p> <p>出席議員 小淵 茂昭・湯本 市蔵・小林 克彦・山本一二三          徳竹 栄子・渡辺 正男・児玉 信治・山本 良一          高田 佳久・黒岩 浩一・西 宗亮・布施谷裕泉          望月 貞明・田中 篤・高山 祐一・小根澤弘          (事務局) 1名</p>
次第(担当者)	<p>開会宣言(司会者) 高山 祐一          主催者挨拶 小淵 議長          共催者挨拶 沓野区長 児玉 重一          司会者より出席議員紹介          常任委員会報告(報告者上述の通り)          常任委員会報告に対する質疑応答          懇談事項(1)どうする町の公共施設整備          懇談事項に対する意見提案など          閉会の挨拶 沓野組惣代 関 廣治          閉会宣言(司会者)</p>
報告事項の質疑	<p>Q：保育園の改修について、児童が減り各小学校の教室が空いているので保育園として利用できないのか？          A：小学校が統合され空いた場合にはいいが現状のままでは無理だ。          Q：観光地であるので案内板に外国語もいれたい。          A：早急に改造するようにやってみよう。          A：観光商工課では案内板については充実したものを逐次考えていき、場所も予算の範囲で一つ一つ考えていくとのこと。          Q：やまびこ広場の噴水の件は昨年否決されたのになぜ再提出された？又、年間の</p>

<p>報告事項の質疑</p> <p>Q = 住民 A = 議員</p>	<p>1/3未使用な所に金を掛けないでもらいたい。</p> <p>A： 昨年は予算について提案されたが全体の予算の関係で可決された。 現状の議会では全体的な推進案に賛成議員はいない。</p> <p>Q： 議員定数、議員報酬は減らさなくてもいいのもっと仕事をしてほしい。</p> <p>A： 議会の流れの中では近隣市町村との比較や、町の財政の中でも議員報酬は現状維持である。仕事も一生懸命頑張る。</p> <p>Q： 前回の議会では、議員定数・議員報酬は現状維持となっているのに前回議員が半数へっているのになぜこの問題が出るのか？</p> <p>A： 6月から新人議員になったので再度、議会活性化の中で話し合い、多数決で決めた。</p> <p>Q： 4ページの資料が一番大切なので再度説明してください。</p> <p>A： 実質公債比率の説明を行う。</p> <p>Q： 議員はこの資料を見て危機感を持っているのか？</p> <p>A： 危機感を持って今後はさらにチェックを厳しくして行く。</p>
<p>意見提言</p>	<p>(お願い) 議員定数は是非10人くらいでやってもらいたい。</p>
<p>懇談会意見</p> <p>Q = 住民 A = 議員</p>	<p>Q： 社会体育館の現状について？</p> <p>A： 平成16年に危険のため使用禁止。平成23年以降取り壊しの計画中であるが議会でも今後取り壊しをもとめていく。</p> <p>Q： 急傾斜地工事の事業はまだ継続されているのか？沓野に登る「かみの坂」に段差があるので補修してもらいたい。</p> <p>A： 地主さんが承諾してもらえればいい。</p> <p>Q： 地主さんに再度お願いしてもらいたい。</p> <p>Q： 過疎債はどのような所に使えるのか？又過疎債には枠があるのか？</p> <p>A： 過疎債は基本的にはどんな所にも使える。金額的には上限の制限はありません。</p> <p>Q： 旧、和合保育園の取り壊しはどこに入っているのか？</p> <p>A： 旧、和合保育園の取り壊しについては町からは説明はありません。</p> <p>Q： 山ノ内町が「過疎」に認定されたのは何故か？又、「過疎」から脱却するには基準みたいなものがあるのか？</p> <p>A： 国が「過疎」にする基準を緩和したこと、人口が短い期間に減少したことと、財政力指数0.54以下のために認定された。 又、「過疎」を脱却するには、人口の減少が課題となります。</p> <p>Q： 過疎債を使って過疎を脱却するには人口を多くするように子供を育てやすくする、又、住みやすいようにするために過疎債を使えないか？</p> <p>A： 主要なハード事業は過疎債を使い。自主財源はソフト事業で多く使う。</p> <p>Q： 防災マップを作り人命を守ってもらいたい。</p> <p>A： 昨年防災マップは各家庭に配布済みです。町では災害時に早くお知らせできるシステムを構築中である。</p> <p>Q： 角間川上部の堤防のかさ上げはいつできるのか？</p>

	<p>A： 角間川については県が出している24時間の降雨量を越えてしまうと対応でき</p>
--	---

<p>懇談会意見</p> <p>Q = 住民 A = 議員</p>	<p>ない。</p> <p>優先順位は非常に町としても重要な場所と町長理解している。</p> <p>この河川は県の所管なので県にお願いをする。</p> <p>Q：今回の「議会報告会」の意義はどんな所にあるのか？</p> <p>A：各地区の近い皆様の意見を聞き又、町として町以外での事業で負担がかかって来ますので、その点を相談したり皆様の意見を町側に反映させるために開催をした。</p> <p>Q：第6次産業・新エネ施設整備事業はどんな事を考え又内容の説明を。</p> <p>A：計画段階である。内容は、地産地消を促進するための「農家レストラン」の計画で場所は未定です。</p> <p>Q：新エネルギーとはなんですか？</p> <p>A：施設の中に太陽光、温泉熱等を利用する施設をすることです。</p> <p>Q：具体的になるように、無駄使いにならない施設を作って貰いたい。</p> <p>A：今は計画段階ですがより良いものを出来るように努力していく。</p> <p>Q：新幹線開通に伴い、飯山市を中心に半径20kmの9市町村が一体となり観光をPRするとなっていたが、山ノ内町ではどんなことをするのか？</p> <p>A：広域で観光を推進していく、会議は行われましたが、各自治体に行くまでのアクセスに問題があり今の現状では共通点がない。山ノ内町としては観光を目玉にした中で進めてもらいたいと届けてある。今は構想の段階で具体的なものは出ていない。</p> <p>Q：町名変更の運動はなくなったのか？、山ノ内町には「山ノ内温泉郷」「湯田中・渋温泉郷」「志賀高原温泉郷」と三つのネーミングがある。観光立町として「道の駅」にせめて英語と中国語ができる観光案内所を設置したらどうか？河床整備はどうなっているのか？</p> <p>A：議会全体と行政を動かすことができず力不足でした。</p> <p>A：道の駅の観光施設（案内所）につきましては湯田中駅の観光案内所が軌道にのりましたら次は道の駅と言う空気が行政の中にはあります。</p> <p>A：議会や議員も努力はしているし町建設課として県へ協力に要請する。</p> <p>Q：町長や議会の熱意が足りないので強力に県に要請してもらいたい。</p> <p>A：全力をあげて県に要請します。</p>
<p>その他 反省事項等</p>	